

## 水道事業の業務状況

水道事業の普及状況，平成29年度決算状況及び平成30年度予算執行状況を公表します。

### 1. 水道普及状況(平成30年9月30日現在)

給水区域内人口	155,681人
給水人口	151,882人
普及率	97.6%

## 2. 平成29年度決算状況

### (1) 決算報告書（消費税込）

（予算と決算の対照）

予算（予定又は計画）に対する実績を示したものがこの決算報告書です。

水道事業会計の予算及び決算は、その年度の経営成績を明らかにするために、収益的収入及び支出と資本的収入及び支出の二本建てになっており、収益的収支は、水道料金を主とする収入とそれに対応する人件費、物件費、減価償却費、支払利息などの諸費用が支出として記載されています。

一方、資本的収支は、将来の水需要に対処し施設の更新や拡充を図るために要する建設改良費などと、現有施設建設時に要した企業債償還金などの支出と、それに対する収入としての企業債、一般会計負担金、工事分担金などの収入が記載されています。

収益的 収支	収 入	予算現額 36億4,520万2千円	
		決算額 36億8,160万3千円	執行率 101.0%
	支 出	予算現額 29億5,677万円	
		決算額 28億3,566万8千円	執行率 95.9%

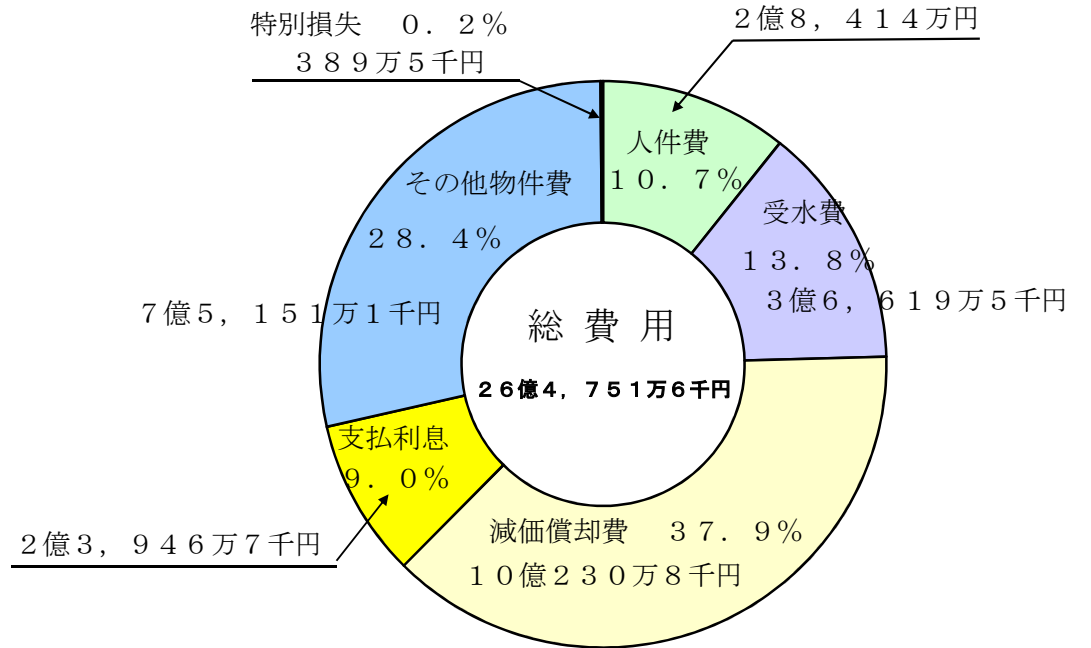
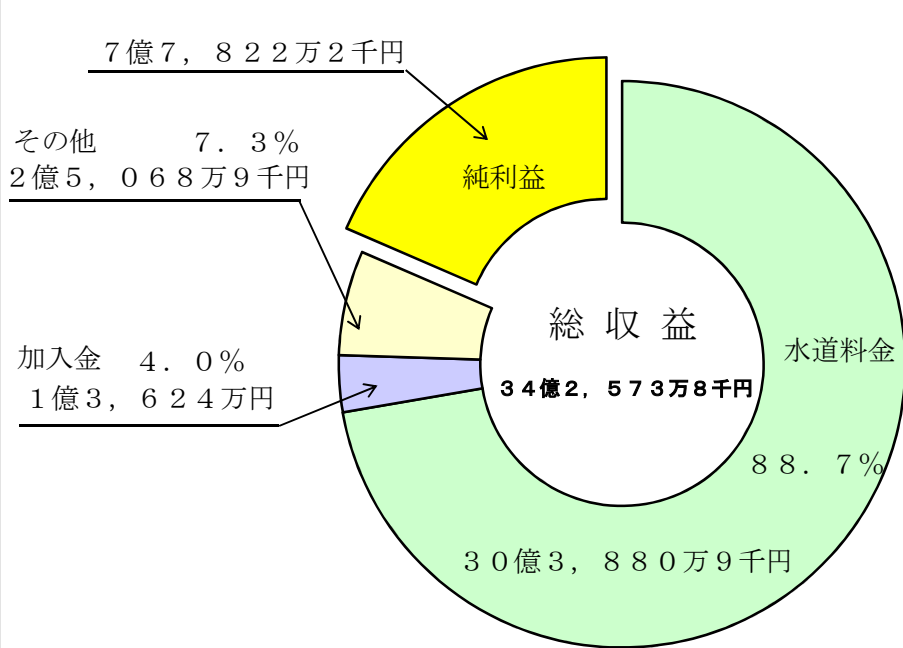
資本的 収支	収 入	予算現額 10億9,168万2千円	
		決算額 6億6,025万3千円	執行率 60.5%
	支 出	予算現額 23億715万1千円	
		決算額 17億9,444万6千円	執行率 77.8%

(2) 損益計算書（経営成績）

（消費税抜）

損益計算書は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの営業期間内における水道事業の企業としての経営成績を明らかにするために、その期間中に得たすべての収益と、これらに要したすべての費用を記載し、純損益とその発生の由来を表示したものです。

平成29年度の総収益は、前年度に比べ0.8%減の34億2,573万8千円、総費用については前年度に比べ0.7%増の26億4,751万6千円で、差引純利益は7億7,822万2千円となりました。



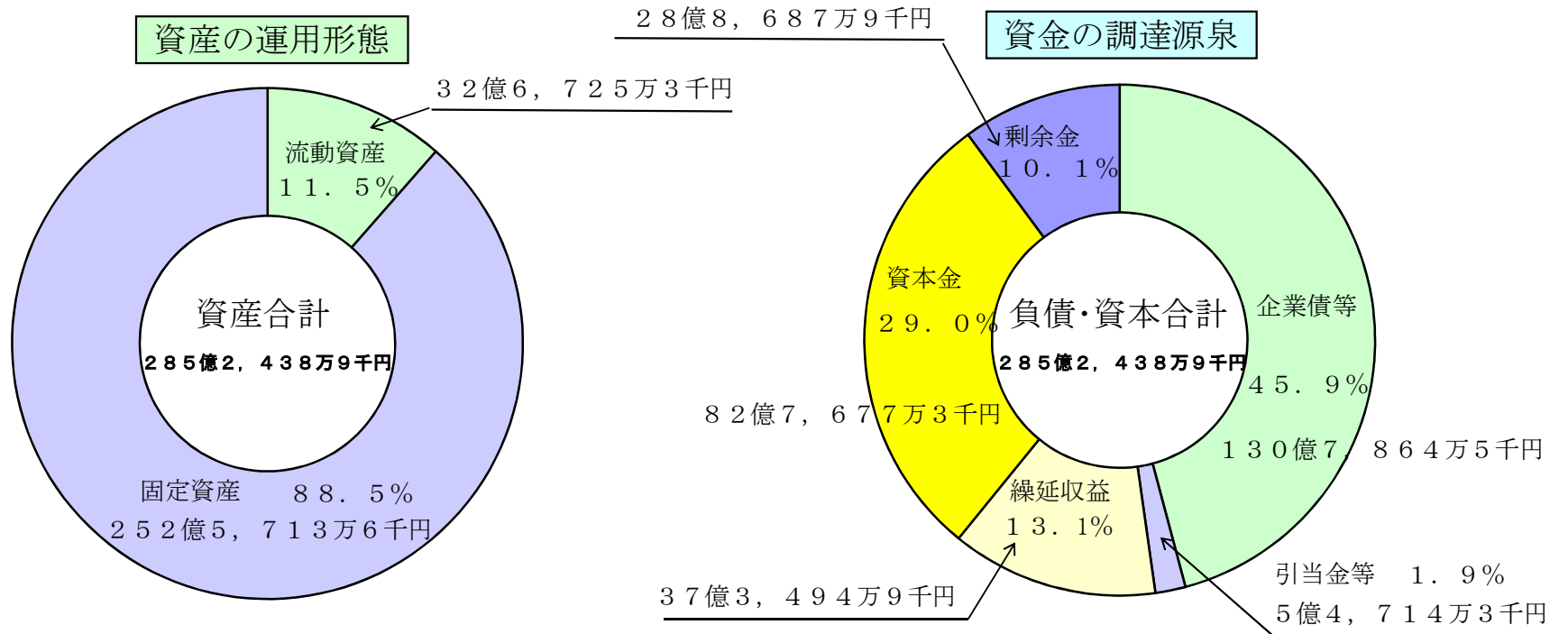
(3) 貸借対照表 (財政状態)

(消費税抜)

貸借対照表は、公営企業としての財政状態を明らかにするため、平成30年3月31日現在において保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表示したものです。

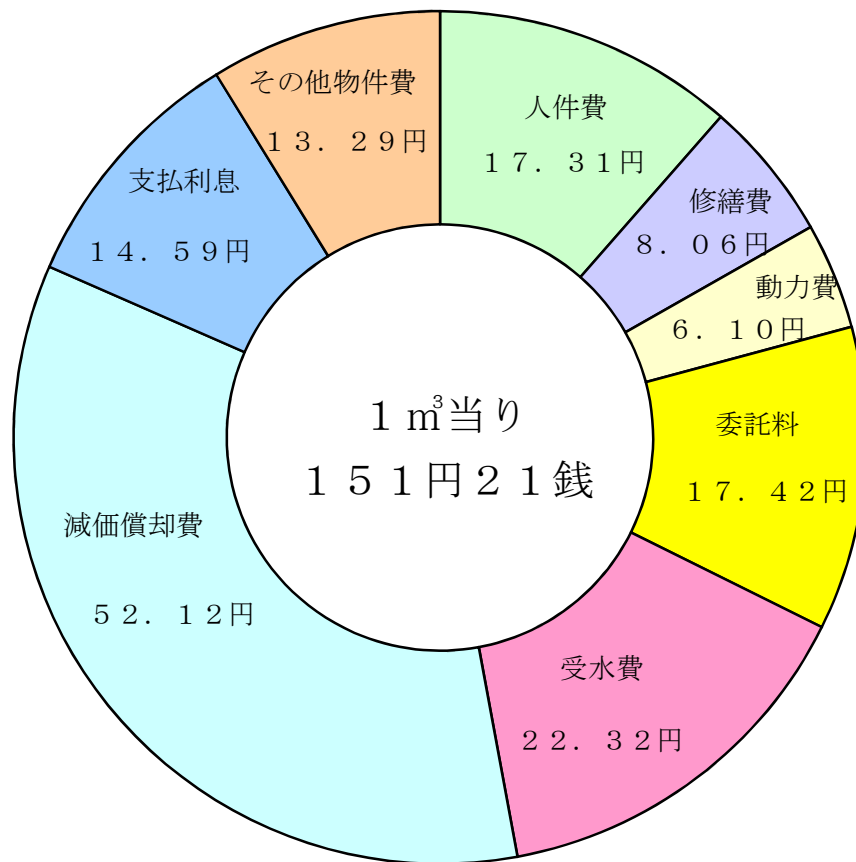
総資産は285億2,438万9千円で、そのうち88.5%は水道事業の施設や設備等であり、将来の料金収入に対応させて減価償却を行ない費用化される固定資産です。

総資産取得に要した資金源泉としての負債・資本合計は総資産と同じ285億2,438万9千円で、そのうち60.9%が負債(企業債及び繰延収益等)で、39.1%が資本(資本金及び剰余金)になっています。



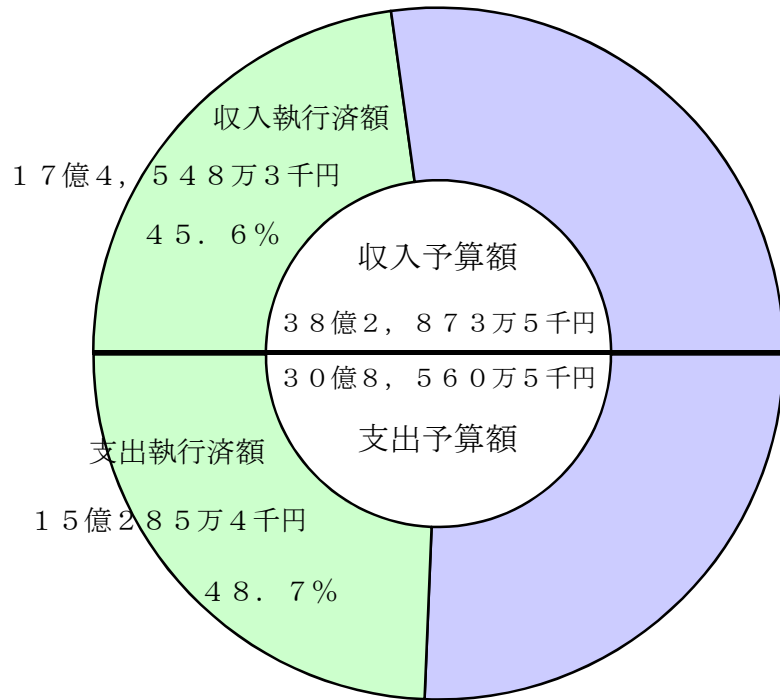
(4) 1 m<sup>3</sup>当り費用構成 (給水原価)

※給水原価とは、水道水1m<sup>3</sup>を作るのに必要な経費です。(消費税抜)



3. 平成30年度予算執行状況（消費税込）  
 （平成30年9月30日現在）

収益の収支



資本の収支

